

平成18年度弁理士試験論文式筆記試験問題

[民法]

Aは、自己所有の甲土地をBに2000年7月に譲渡し、登記名義を移転させた。ところが、甲土地については、Cが1985年7月以降占有を続けている。2006年7月の時点で、Bは、甲土地の明渡しをCに請求することができるか。Cの主観的態様等により場合分けをしつつ論ぜよ。

【50点】

論点 [民法]

- 1 . 取得時効の要件 (民法 162 条) を問う。
- 2 . 取得時効と登記 (民法 177 条) を問う。